

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 21 年 1 月 15 日 (2009.1.15)

【公開番号】特開 2007-261819 (P2007-261819A)
 【公開日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-039
 【出願番号】特願 2007-188982 (P2007-188982)
 【国際特許分類】

B 6 6 B 1/18 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 1/18 P
 B 6 6 B 1/18 W

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 11 月 26 日 (2008.11.26)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ビルの複数階床を運行する複数のエレベータかごを制御するエレベータの群管理システムにおいて、

発生したホール呼びに対して前記複数のエレベータかごのいずれかを割当ての際に、前記エレベータかご毎に前記ホール呼びが割当てられた場合の将来方向時点までの運行軌跡を演算し、この演算結果に基づいて前記ホール呼びに割当てられる前記エレベータかごを決定することを特徴とするエレベータの群管理システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のものにおいて、前記軌跡の演算は、その時点またはその時間帯でのサービス階床情報を用いて作成されることを特徴とするエレベータの群管理システム。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のものにおいて、前記軌跡は、各前記エレベータかごに対して階床毎の到着予測時間を計算し、前記到着予測時間を将来の時間に対する前記エレベータかごの予想位置とし、時間と予想位置で決まる点を結ぶことで作成されることを特徴とするエレベータの群管理システム。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のものにおいて、前記軌跡は、交通流及びエレベータの状態の情報を用いて作成されることを特徴とするエレベータの群管理システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0008
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0008】

上記目的を達成するため、本発明は、ビルの複数階床を運行する複数のエレベータかごを制御するエレベータの群管理システムにおいて、発生したホール呼びに対して前記複数のエレベータかごのいずれかを割当ての際に、前記エレベータかご毎に前記ホール呼びが割当てられた場合の将来方向時点までの運行軌跡を演算し、この演算結果に基づいて前記

ホール呼びに割当てられる前記エレベータかごを決定するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によるエレベータ群管理システムは、長期的に安定した各かごの時間的等間隔制御を実現できる。